



渋谷福重議員

Q道の駅の進捗状況は

A24年度開設に向けて進めている

問 町を発展させ、活性化させるためには、道の駅が必要であると大いに期待している。先日、産業厚生常任委員会でも5か所ほど調査してきたが、いずれも町のシンボリックな存在となっている。

そこでお聞きしたいが、予定地について、地権者の問題は無いのか。

町長 予定地と決定された地区には8人の地権者がいるが、同意をいただき用地の測量を実施している。

問 24年度開設に向けて進んでいるということだが、スケジュールはどのようになっているか。

町長 21年度は予定どおり場所を決定し、測量した。

22年度は、地区計画の策定、用地買収に入る予定である。

問 地区計画の策定とはどのようなことか。

町長 予定場所は市街化区域と市街化調整区域の両方になっているので、その辺の変更作業がある。

問 ソフト面のタイムスケジュールについて伺いたい。

町長 実施設計に入る時点で決定していきたい。

問 駅長はどのような方法で、いつ頃決定するのか。

町長 駅長という形にするかどうかは別として、早い時期から人の配置は必要と考えている。

問 レストランの outlet について、運営方法はどのように考えているか。

町長 テナントと直営の方法があるが、どちらも一長一短があるので、もう少し時間をいただきたい。

問 国見町の道の駅で扱う特産物の開発について。開発は一朝一夕にできるものではないので、早くから取

り組む必要があるのではないか。

町長 道の駅ができれば、ここにしかない、そういう特徴のある産品が必要だ。町民の方にも参加していただき、進めたい。

問 コンビニも設置するということだが、テナントとして入れれば大きな駐車場でコンビニのために利用されることになりかねないのではないか。

町長 コンビニ経営はそれ

なりのノウハウが必要であり、直営では難しいだろうと思っている。24時間営業していることで相乗効果があり、テナントとして考えている。

問 道の駅には、物産コーナーや新鮮野菜コーナーがあるが、その運営方法は。

町長 農産物の直売は、出荷組合とか、町民がプラスになるような形が望ましいと考えている。

Q新政権による米作りの影響は

A今のところ不明である

問 新政権による米政策であるが、身近にある農業についても大きく変わるうとされている。米政策の「個別保障制度」とはどのような制度で、米作りにどのように影響してくるのか。

町長 今のところ、その制

度の内容はまだ確定していないようだが、はっきり決まったら説明なり周知を図っていきたい。